『らんまん』 No.2

入園・進級からもう2か月。リズム室からすみれ組の和太鼓を叩く音が聞こえてきます。新しいクラスや担任に馴染んできて自分のクラス！自分の先生！になってきたのを子どもたちのまなざしから感じます。今年は早くも梅雨入りして、さわやかな期間は短かかったかな。疲れなどもでてくる頃と重なり、体調管理が難しいですね。

春の遠足は別日になりましたが、公園や園外保育で自然に触れたり、明日香村の宝であるキトラ古墳を見たり、自分の命を守るための取組など引き続き大切な経験を積み上げています。子どもたちの『やりたい』気持ちが広がってきて、砂遊び、ジュースつくり、制作、積木や巧技台の遊び、虫探しなど面白そうな遊びを見つけ、触れ、並べる、混ぜる、組み合わせるなど様々な見立てをしながら遊びの場が広がってきました。クラスでは花の種まき、野菜の苗植えをしたので、これから世話をして自然からたくさんのことを教わりたいと思います。

6月は、遊びのため込みをする大切な時期です。梅雨期の自然や水、砂、土、泥などに触れたり、様々な素材を使って描いたり作ったりもして、十分に遊べる環境を用意していきたいです。

～あいさつの声～

家庭では挨拶を大切にされていますか。幼稚園の朝の出会いは、挨拶から始まっていきます。今日はどんな風に来るかな？と思いながら一人一人の顔を見て声をかけて迎えると、子どもは自然体で、朝の挨拶だけでもその時の気持ちに左右されているのを感じます。最近はすみれ組のあいさつにハリが出てきてが、その声が全体的に広がってきました。私は、毎朝そのエネルギーをもらって毎日元気に過ごしています。

～噛む力を育てよう～

歯科検診後、歯科園医の先生から子どもたちの歯はきれいで、虫歯も少なく、しっかり磨けていると褒めていただきました。しかし、歯列不正に将来なるかなと感じる子どもさんが多かったようです。乳歯が抜けるとそれより大きな歯が生えてくるため並ばず、最近では小学校5，6年生で矯正する子どもがとても増えているとお聞きしました。遺伝によるものもありますが、顎の発達が変わってきているので、今できることは『しっかり噛むこと』で顎の発達を促していくしかないようです。虫歯もできかける幼少期は、歯を守っていくための重要な時期なので、まず大人が見本となって、家族でよく噛んで食べる習慣をつけていきたいものです。

よく噛むことでこんな効果もあります

・・・舌がスムーズに動くようになり、言葉がはっきりします

・・・脳に多くの血が流れ、脳が活性化します

・・・唾液がたくさん出て、歯周病や虫歯の病原菌を洗い流します

文責　西川朋子